

和光市立新倉小学校保護者様

## 令和4年度 和光市立新倉小学校 学力・学習状況調査結果について

今年度実施した全国学力・学習状況調査（6年生対象）及び、埼玉県学力・学習状況調査（4・5・6年生対象）の本校の結果概要についてお知らせいたします。

今回の検証結果などを基にし、指導改善に努め、更なる学力向上を図ってまいります。

	結果及び概要	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県平均と比較すると、平均正答率は学年による差がみられ、4年生は概ね同等、5・6年生は若干低い傾向が見られた。</li> <li>・ 昨年度実施した本テストとの比較からは、5・6年生の児童の学力の伸びの平均が、ほとんどの学力層で上昇している。（5・6年生が昨年度の結果と比較して、それぞれ児童の学力の伸びがどれくらいあったかをみている。4年生は、今年度からの実施の為、昨年度との比較は無い。）</li> <li>・ 4年においては、県平均と比較し「話すこと・聞くこと・書くこと」及び「読むこと」の領域が特に優れている傾向が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内研修でも取り上げている「書くこと」については、普段の学校生活においても課題を感じる場面が見られるため、考えていることを文章化したり表現したりする機会を積極的に増やしていく。</li> <li>・ 具体策としては、考えを文章化するために週末日記や授業の終末にその時間の学習の振り返りを書いたり、思いを表現するために日直スピーチを行ったり、語彙や優れた表現を獲得するための視写等、学年の実態に合った指導の工夫や、校内研修で培った授業展開の工夫を積極的に用いて学力の定着と更なる学力向上を図る。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県平均と比較すると、国語同様平均正答率は学年による差がみられ、4年生は概ね同等、5・6年生は若干低い傾向が見られた。</li> <li>・ 昨年度実施した本テストとの比較からは、5・6年生においては、児童の学力の伸びの平均が、すべての学力層で上昇していた。</li> <li>・ 4年においては、全ての領域で県平均を上回っており、中でも「図形」と「データの活用の領域が特に優れている傾向が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学力層での学力の伸びが順調であるので、現在の指導方針を継続し、学力向上に努める。</li> <li>・ 各学年で、間違いが多かった問題や苦手傾向があった問題を振り返ったり、似たような問題に取り組みせたりする（4年＝図形、5年＝計算のきまり、6年＝円グラフと百分率、等）。</li> <li>・ IT指導、個別指導、習熟度別指導等、児童の理解度や単元の特性に応じて、指導法を工夫し一層の理解と定着を図る。</li> </ul>
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「時刻を守る」「挨拶や丁寧な言葉遣い」の観点がよくできており、県平均を上回る項目が多く見られた。</li> <li>・ 県平均と比較し、「整理整頓」「学習準備」「話を聞き発表をする」の3つの観点がいずれも下回っており、特に「整理整頓」に関しては2つの学年で10ポイント以上、下まわっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いずれも生活習慣・学習規律に関わるものであるため、家庭とも協力して取り組む必要がある。生徒指導部と連携し、全学年で共通した取り組みを考え、習慣化していけるようにする。</li> <li>・ 児童の様子から、話を聞くことはできているが、積極的に発表することに課題を感じるため、ICT機器等を用いた多様な発言・発表の仕方を取り入れ、自分の考えを発信する機会を多く設定する。</li> </ul>

